

## 令和5年 第14回帯広市教育委員会会議録

1. 令和5年9月1日 金曜日 16時00分～17時05分  
帯広市教育委員会会議を市役所10階第5A会議室に招集する。

### 2. 本日の出席者

教 育 長	広 瀬 容 孝
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	柳 川 久
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	藤 澤 郁 美

### 3. 本日の議事日程

- |      |   |
|------|---|
| 日程第1 | 会議録署名委員の指名について                            |
| 日程第2 | その他(1) 今後の事業予定について                        |
|      | その他(2) 寄附受納について                           |
|      | その他                                       |
| 日程第3 | 議案第28号 令和5年度帯広市一般会計補正予算(第6号)について<br>【非公開】 |
| 日程第4 | 議案第29号 令和4年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について<br>【非公開】  |

- 広瀬教育長           ただいまから、令和5年第14回帯広市教育委員会会議を開会いたします。
- 出席委員は、全員であります。
- 会議は、成立しております。
- ここで諸般の報告をいたします。
- (加藤企画総務課長 報告)
- 広瀬教育長           日程第1、会議録署名委員の指名を行います。
- 会議録署名委員は、田中委員及び藤澤委員を指名いたします。
- 日程第2、その他に入ります。
- その他(1)今後の事業予定についてを議題といたします。
- 直ちに説明を求めます。
- 中小原室長           学校教育部の今後の事業予定についてご報告いたします。議案書45ページをご覧ください。まず、企画総務課からの報告になります。北栄小学校の開校50周年式典が9月24日(日)に実施されます。次に、学校教育指導課からの報告になりますが、記載のとおり2校で、教育実践発表会が行われます。次に、学校給食センターからの報告になりますが、学校給食標語コンテストについて、市内小中学校及び義務教育学校の児童生徒を対象に、学校給食の大切さや地産地消を考える標語を、9月1日から30日まで募集いたします。最後に、教育研究所からの報告になりますが、帯広市教育研究会教育講演会が、9月6日(水)に、帯広市民文化ホールにおいて、「個別最適な学び・協働的な学びを実現する実践プラン」と題しまして、実施されます。学校教育部からは以上です。
- 河瀬 室長           続きまして、生涯学習部に関する主な事業予定につきましてご報告させていただきます。はじめに議案書46ページ、生涯学習文化課では、帯広市民大学講座5講座のほか、記載の行事をご覧の日程で開催いたします。次に、47ページに記載しております図書館では、草森紳一展をご覧の日程で開催いたします。次に、児童会館では、親子を対象とした事業や星の観察会など、各種行事をご覧の日程で開催いたします。次に、50ページ、百年記念館では、博物館講座「ぶらり帯広」など、ご覧の日程で各種行事を実施いたします。最後に、動物園では中学生以上を対象とした、飼育員の仕事を体験できるイベントなどを開催いたします。生涯学習部に関する主な事業予定は、以上であります。
- 広瀬教育長           これから質疑に入ります。
- 別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。
- その他(2)寄附受納についてを議題といたします。
- 直ちに説明を求めます。
- 中小原室長           学校教育部の寄附についてご報告いたします。議案書51ページ

をご覧ください。学校地域連携課担当分として、地域ぐるみで子どもを応援する活動の推進のため、市外在住の方 409 名より 500 万 8 千円を、学校教育課担当分として、子どもたちの運動能力向上や、スポーツ知識向上につなげていくため、株式会社レバンガ北海道様よりバスケットボール 40 個を、また、学校教育の振興のための奨学事業や、教育の研究、教育環境の整備に役立てるため、市内在住の方 1 名より 100 万円を、市外在住の方 365 名より 455 万 4 千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、こども学校応援地域基金他 1 基金に積み立てるものです。学校教育部からは以上です。

河瀬 室長

続きまして、生涯学習部に関する寄附について、ご報告いたします。議案書 52 ページです。生涯学習文化課では、風土に根ざした文化の振興のためとして、市外在住の方 183 名より 250 万 4 千円をご寄附いただいております。次に、図書館では、図書資料充実のためとして、市外在住の方 151 名より 179 万 9 千円をご寄附いただいております。次に、動物園では、動物展示施設等の整備及び動物の購入のためとして、市外在住の方 300 名より 358 万 2 千円をご寄附いただいております。最後に、スポーツ課では、スポーツ振興のためとして、市外在住の方 1,839 名より 2,220 万 3 千円をご寄附いただいております。なお、ご寄附いただいた現金は、ふるさと文化基金他 3 基金に積み立てるものです。生涯学習部からは以上です。

広瀬教育長  
佐々木委員

これから質疑に入ります。

51 ページのバスケットボールの寄附についてなのですが、この 40 個はそれぞれの学校に分けているものなのか、それとも、どこかでまとめて保管して使うものなののでしょうか。使い方がよくわからないので、教えていただけますでしょうか。

高橋 課長

今回ご寄附して頂いたバスケットボール 40 個でございますけれども、帯広市の小学校 4 校、明星、稲田、若葉、豊成、この 4 校にそれぞれ寄贈という形で配付しております。

田中 委員

この件について別の観点からお伺いします。これは帯広市だけに寄贈されたわけではないと思うのですが、レバンガ北海道はこういった取り組みをどのようなスキームで行っているのか、分かる範囲で教えていただきたいと思えます。

高橋 課長

レバンガ北海道では、バスケットボールを通じて子どもたちに学びの機会を提供する SDG s の取り組みの一環で、全道規模で学校訪問プロジェクトを行っているものでございます。

藤澤 委員

バスケットボールの寄贈先を 4 校にしたのは、なにか理由があってなののでしょうか。

高橋 課長

今回の配布にあたりましては、バスケット少年団の活動のある

市内小学校に希望を伺い決定しました。

広瀬教育長

他になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

事務局から、その他説明事項はありますか。

事務局

ございません。

広瀬教育長

事務局からは、特にないようですが、各委員から他にご意見、質問等があれば、お受けいたします。

別になければ、ここで、会議の進め方についてお諮りいたします。

日程第3から日程第4の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第3号により非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各委員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、そのとおりに取り扱いたします。

これより、会議を非公開といたします。

日程第3、議案第28号令和5年度帯広市一般会計補正予算（第6号）についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

井上 部長

議案第28号、令和5年度帯広市一般会計補正予算（第6号）について、私から一括してご説明いたします。議案書は1ページから8ページになります。本案は、地方教育行政の組織、及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものであります。議案書3ページの中ほどをご覧ください。教育費に関わる9月補正予算は、第50款、教育費、補正額の欄のとおり、1億4,146万7千円であり、補正後の予算額は、71億1,551万3千円でございます。補正予算の詳細につきましては、議案書5ページをご覧ください。市民文化ホール管理運営費、及び社会体育施設管理運営費につきましては、電気料金単価が令和4年4月の指定管理者の公募時に比べ、上昇したことから、リスク分担表に基づき、管理運営費委託料に計1億216万9千円を追加するものであります。次に7ページをご覧ください。寄附金に関して一括してご説明申し上げます。寄附金とその利息について、寄附者のご意向に沿いまして教育振興基金に208万9千円、こども学校応援地域基金に855万8千円、ふるさと文化基金に74万6千円、図書資料等整備、及び図書館図書整備基金に100万5千円、おびひろ動物園ゆめ基金に2,619万2千円、スポーツ振興基金に70万8千円の計3,929万8千円をそれぞれ積み立てるものでございます。説明は以上です。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。

田中 委員

分からないところがあるので教えていただきたいと思っております。

5 ページの委託料について、現在の電気料金の値上りの中でこの程度で済むのかなということを率直に感じたので、もう少し詳しく教えていただきたいのがまず1点。もう1つ、社会体育施設管理運営費の対象施設は帯広の森運動施設と南町等屋外運動施設だけということになるのでしょうか。総合体育館などは入っていないのでしょうか、教えていただけたらと思います。

佐藤 課長

電気料金の値上げに伴う対応についてはご存じのとおり状況ですので、まだ今後も必要になってくる可能性は十分にあると思っております。対象になっている施設についてですが、総合体育館はこの対象にはなっておらず、対応が必要な施設につきましては、スケートリンクの氷の整備で非常に電気がかかってしまっているという点で対象となっております。

田中 委員  
天池 課長

分かりました。

市民文化ホールにつきましては今年度中には補正をしていかなければならないと考えております。他の施設についても、そのような施設が一部ございますので、またこのような機会をとおして議案を挙げさせていただきたいと考えております。

田中 委員

今回は電気料金だけに特化した形になっているようですが、ガソリンですとかいろいろなものが値上がりしていると思います。そのあたりを含めてこれから他のものも上がっていくという理解で良いのか、それとも電気料金だけなののでしょうか。

河瀬 室長

今回補正に挙げている案件といたしましては電気料金ということで、挙げております。他のものは、今後の状況に応じて補正対応という形になるかと思えます。

広瀬教育長

他になれば、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第28号、令和5年度帯広市一般会計補正予算（第6号）については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員  
広瀬教育長

異議なし。

日程第4、議案第29号、令和4年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

服部 部長

議案第29号、令和4年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定についてご説明いたします。議案書9ページをご覧ください。本案は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、議会の議決を経るべき事件の議案について、教育委員会の意見を述べようとするものです。最初に、令和4年度帯広市一般会計歳入歳出決算のうち、教育委員会の全体についてご説明いたします。議案書10ページの上段、（歳入）教育委員会合計の欄をご覧ください。令和4年度収入済額は、総額22億5,407万8,737

円となっております。私からは、そのうち学校教育部所管分の、主なものについてご説明いたします。諸収入のうち 奨学資金貸付金元金につきましては、予算額 3,344 万 6 千円に対して、調定額は 3,758 万 9,300 円、収入済額は右側、主な事業に記載のとおり 3,457 万 5,400 円でした。収入済額は予算対比で 112 万 9,400 円の増となっております。これは、繰上げ返還の増が主な要因であります。また、収入未済額は 301 万 3,900 円となり、令和 3 年度と比較しても同程度であります。今後も夜間督励や、きめ細やかな納付相談等により、返還率の向上に努めてまいりたいと考えております。次に 学校給食費収入につきましては、予算額 6 億 5,615 万 5 千円に対して、調定額は 6 億 3,932 万 899 円、収入済額は、右側、主な事業に記載のとおり 6 億 1,180 万 8,817 円でした。収入済額は予算対比で 4,434 万 6,183 円の減、収入未済額が 2,626 万 9,415 円となり、収入未済額は令和 3 年度と比較して、175 万 4,970 円減少しました。今後も給食費の自動振替制度や児童手当からの委任払いの活用など、学校と連携した細やかな督励を行い、収納率向上に努めてまいりたいと考えております。次に、戻りまして、寄附金につきましては、各基金に多くのご賛同をいただき、教育振興基金に 5,212 万 7,900 円、こども学校応援地域基金に 1 億 7,547 万 509 円のご寄附をいただきました。いただいた寄附金につきましては、子どもたちのために有効に活用させていただきます。続きまして、議案書 13 ページの表の上段、(歳出)教育費合計の欄をご覧ください。令和 4 年度予算現額は、当初予算額に、学校保健特別対策事業費、小・中学校の学校営繕費及びリニューアル改修事業費、大空地区義務教育学校整備費の令和 3 年度からの繰越明許費のほか、各社会教育施設の運営に要する経費や、光熱水費の単価高騰に対応するための経費などの補正予算額、及び予備費充当額を合わせまして、総額 63 億 9,994 万 8,147 円となっております。このうち、学校教育部所管分については、令和 4 年度予算現額 34 億 1,833 万 3,987 円に対して、決算額は 31 億 9,166 万 205 円、学校保健特別対策事業費の翌年度繰越額は、4,905 万円であり、1 億 7,762 万 3,782 円が不用額となっております。次に、不用額が生じた主な要因につきましてご説明いたします。教育総務費中、事務局費では、1,591 万 1,519 円の不用額が生じましたが、これは、就学資金貸付金において、新規奨学金申請者が減ったことによる貸付金の減などが主な要因であります。地域連携費不用額 620 万 589 円は、子どもの居場所づくり事業費において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、放課後子ども広場の実施回数が減少したことに伴う、事業費の減などが主な要因であります。次に、小学校及び中学校費につきまして、一括

してご説明いたします。小学校費中、学校管理費の不用額 5,468 万 8,860 円、及び中学校費中、学校管理費の不用額 2,135 万 7,666 円については、小・中学校の学校管理費における、電気・水道及び燃料使用量の減少等に伴う需用費の減や、新型コロナウイルス感染症対策の実施に伴い、学校施設地域開放推進事業費において、各種事業の中止、時間数の減に伴う委託料が減少したこと、スクールバス運行事業費において、校外活動スクールバスの運行距離、時間数の減少等により委託料が減少したことなどが主な要因であります。同じく小学校費中、教育振興費の不用額 1,372 万 6,949 円及び中学校費中、教育振興費の不用額 808 万 8,308 円は、いずれも、就学援助費において、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休業が増加に伴い、給食に関わる援助費が減になったことなどが主な要因であります。次に高等学校費中、学校管理費の不用額 476 万 1,277 円は、電気・水道及び燃料使用量の減少等に伴う需用費の減や、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、国際理解教育推進事業費において、国際姉妹都市マディソン市への派遣研修が中止になったことに伴う旅費と補助金の減などが主な要因であります。最後に保健体育費中、学校給食センター費の不用額 2,219 万 1,706 円は、電気・水道及び燃料使用量の減少等に伴う需用費の減や、児童生徒の減少に伴う賄材料費の減少などが主な要因であります。なお、19 ページに、基金の現在高を参考資料としてお示ししております。また、令和 4 年度の主な事業の概要につきましては、議案書の 22 ページから 30 ページまでの「施策 2 笑顔でつなぐ、みんなの子育て－子育て支援の充実－」「施策 12 未来を拓く子どもをともに育む－学校教育の推進－」ごとに記載しております。学校教育部に係る説明は以上です。

井上 部長

続きまして、生涯学習部に関する決算及び事業概要についてご説明申し上げます。まず主な歳入についてご説明いたします。議案書 11 ページになります。使用料及び手数料は、全体で予算額 1 億 1,433 万 7 千円に対し、1 億 420 万 4,618 円の収入済額となり、予算対比 1,013 万 2,382 円の減となりました。内訳は、右側の主な事業欄に記載されておりますが、いずれも新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント等の減少による利用者減の影響のため、館の室料・冷暖房料や動物園入園料等が減少したものであります。次に、寄附金につきましては、多くのご賛同をいただき、右側の欄に記載のとおり、ふるさと文化基金からスポーツ振興基金までの各種基金に対し、総額 6 億 7,167 万 7,734 円のご寄附を頂戴いたしました。頂いた寄附金につきましては、それぞれの目的に沿い、社会教育・スポーツの振興に有効に活用させていただきます。最後に、諸収入のうち、主な事業の欄にあります広告料

につきましては、生涯学習部の所管施設全体で1,379万6,600円の予算額を見込んでいましたが、742万4,286円にとどまり、予算対比637万2,314円の減となりました。特に帯広の森屋内スピードスケート場内に掲示する広告の申し込みが半数以下となったことが主な要因であります。次に、歳出についてご説明いたします。議案書16ページをご覧ください。令和4年度予算現額29億8,161万4,160円に対して、決算額は29億267万9,485円であり、7,220万8,675円が不用額となっております。次に、不用額が発生した主な要因につきましてご説明いたします。社会教育費中、文化振興費では144万8,387円の不用額が生じておりますが、文化賞表彰に伴う報償費等の減額や全道・全国大会への派遣件数の減などが主な要因でございます。同じく社会教育費中、とかちプラザ費では372万1,919円、市民文化ホール費では397万6,417円の不用額が生じておりますが、いずれも年度途中で補正した指定管理者への支援金、リスク分担金が最終的な見込みより減額となったのが主な要因でございます。このほか、百年記念館費で541万646円、図書館費で645万847円、児童会館費で267万1,568円、動物園費で991万8,542円の不用額が生じておりますが、いずれも工事に伴う入札の減や、電気・水道及び燃料使用量の減少に伴う需用費の減が主な要因となっております。次に、18ページ、保健体育費中、保健体育総務費の不用額533万5,665円は、新型コロナウイルス感染症の影響による大会開催数の減少に伴い、大会への派遣費補助金の申請件数の減や日韓スポーツ交流事業の中止による減などが主な要因でございます。最後に、体育施設費、不用額3,052万4,866円は、年度途中で補正した指定管理者への支援金、リスク分担金が見込みより減額、また、市民プールの床改修工事における入札額の減などが主な要因でございます。なお、令和4年度の主な事業の概要につきましては、議案書30ページから44ページまでの、「施策13いつまでも学ぼうって面白いー生涯学習の推進ー」「施策14潤いのある暮らしと地域をつくるー文化芸術の振興ー」「施策15スポーツで楽しく、ハツラツ、健康にースポーツの振興ー」「施策22認め合い、つながり、暮らすー多様な主体が活躍する地域社会の形成ー」に記載をしております。生涯学習部に係る説明は、以上であります。

広瀬教育長

これから質疑に入ります。質疑は、22ページから44ページの主要な施策の成果も合わせてお願いします。

藤澤 委員

施策のほうで5点ほどあります。まず1点目、23ページですが、地域と連携した地元食材を活用したメニューづくりで、児童生徒が考案したレシピをメニュー化とありますが、実際にメニュー化した物が給食として実用化されているのかという点をお聞きした



と思います。2点目は24ページの動画教材作成事業、25ページのデータベース教材作成事業についてです。これは各学校違うとは思いますが、授業などでどのような形で活用されているのか使用状況なども伺いたいと思います。3点目は28ページの就学資金貸付事業について、奨学金と入学支度金の貸与と貸付の違いが分からなかったのを教えていただきたいです。4点目は29ページの小・中学校適正配置推進事業として近隣校との交流授業等の回数が書かれていますが、大正小学校と愛国小学校が他の学校の1回と比べて6回となっており、多いと思いますがこの違いをお聞きしたいと思います。5点目が36ページ、動物園の管理運営費として、キッチンカーの導入に関して、具体的な利用状況などを教えていただきたいと思います。

藤原センター長

地域と連携したメニュー作りということで小学校、中学校とで連携して考案させていただいておりますが、ただ、定着ではございません。

新井 所長

データベース教材に関わる部分につきましては、昨年度は5本作成しております。内容につきましては、算数数学科教材の算数ブロックという教材、理科教材の月の満ち欠け、音楽教材のドレミーアというタブレット上に鍵盤が出てきて使える教材、社会科教育の副読本のデジタル教材、漢字習熟確認ボード、いずれも授業の中での活用、あるいは家庭に持ち帰って使うような感じで子どもたちは活用しております。特にドレミーアについてはコロナ禍において鍵盤ハーモニカが使えないような状況で、その代用として非常に多く学校で使われたというようなことを聞いております。それから、ご質問中の24ページの動画教材についてですが、先ほど紹介しました漢字習熟確認ボード、漢字の読み、小テストの漢字アプリに関する使い方をまとめた動画教材になっております。使い方を先生が提示するために使ったり、高学年においては、自分でタブレット上でそれを見て、こんな使い方をして活用できるということを確認したりするような形で学校で使われておりました。以上です。

高橋 課長

貸付事業の奨学金の貸与と入学支度金の貸付の違いについてですが、奨学条例施行規則において、入学支度金についても本来は貸与と表記すべきところがあります。訂正させていただきます。

山下 課長

29ページの交流授業の件ですが、大正小学校と愛国小学校の6回と他の学校の違いということで、それぞれ主に総合ですとか生活の授業で交流授業を行っているのですけれども、大正小学校、愛国小学校につきましては、学年ごとで違う日に行っておりまして、それぞれの件数の合計が6回ということです。他の学校につきましては、例えば6年生の授業ではオンラインで修学旅行のそ

それぞれの経験についての交流授業を単体に行っているのですが、その回数の違いになっています。

稲葉 園長

ご質問中、36 ページのキッチンカーの導入についてご説明いたします。キッチンカーの導入につきましては、現在、管内の3社ほどに動物園に出店していただいて、土日祝祭日など、人の集まる日に1日1台場所をお貸ししながら営業をしていただいております。出店の内容につきましてはクレープやホットドックなど、館内レストランと被らないようなものをお出しいただきながら飲食サービスの充実を図っているところです。以上です。

藤澤 委員

先ほどのキッチンカーについてですが、動物園オリジナルの独自の、例えば動物の形のクッキーなどを要望するという事は考えていないのでしょうか。

稲葉 園長

例えばキリンを模したホットドックですとか、そういったイメージで出店しているお店に要望することはできると思います。

井上 部長

少し補足させていただきますと、動物園のキッチンカーの取り組みではありませんが、帯広商工会議所の方から市内のいろいろなレストランやカフェで動物をモチーフとした料理などを作ってもらい、1つの冊子にまとめる形でご協力いただいているという取り組みも行われているということを申し添えたいと思います。

柳川 委員

17 ページの図書館費の資料デジタル化事業費とありますが、これはどういう資料をデジタル化されているのですか。

永田 館長

デジタル化したものは、今のところは2つです。1つは図書館の100周年の記念誌、あと帯広小学校の3・4年生の副読本、こちらをデジタル化しております。以上です。

柳川 委員

それで1,100万円もかかるものなのでしょうか。

永田 館長

こちらに関しましては、図書館のデジタル化に関するOA機器ですとかの技術料や使用料、賃借料、そういったものの合計になります。以上です。

柳川 委員

わかりました。

佐々木委員

不用額が今回は沢山あっていろいろとご説明いただいたのですが、お聞きした限り、そのほとんどがコロナ禍で中止になって、予定していた費用がかからなかったというのが共通した理由かと思います。そう考えると、今回不用額が沢山出たけれども今後はおそらく様々な事業も復活して行って、このような不用額はあまり出ないだろうという見通しなのではないでしょうか。

服部 部長

今年度につきましては最近またコロナが流行っている部分もありますし、一部検討したり、見直しをしている部分があります。私たちも従来の形に戻る様に、できれば今年度、少なくとも来年度には適正な施行率に戻るよう努力させていただきたいと考えております。以上です。

田中 委員

1つ目は、生涯学習部の諸収入の広告料が想定外に減ってしまったことについて、理由や分析はされているのか伺いたと思います。それから、就学資金の貸し付けの部分では、不用額が増えたということで間違いがなかったでしょうか。帯広市については就学資金について盛り上がった印象があったのですが、なぜあまり使われなかったのか、意外だったものですから教えていただければと思います。あと、30ページのところで市民大学講座や高齢者学級、放送大学が令和4年度の時点で数字的に落ち込んだと思うのですが、それに対して、令和5年度については先ほども部長が仰っていましたが少しずつ回復させていくという流れの中で、その傾向というのは生涯学習関係の中では出てきているのか教えていただければと思います。加えて、37ページ、ボランティアの数がコロナを終えて復活傾向にあるのかどうかということをお教えいただけるとありがたいです。

佐藤 課長

まず私の方から、オーバルの関係ですが、広告を付けるスペースが何カ所かございまして、一番メインの正面のバックストリートはほぼ埋まっていますが、その他の部分はなかなか埋まらないといった状況がございまして。今後、契約の手続きのやり方や広告料の見直しをしていかなければならないと思っていると同時に、企業へ働きかけの不足といったことも考えられますので、そういったところも対応して、増やしていかななくてはならないと考えております。以上です。

高橋 課長

予算に比べて奨学金の貸し付けが少ないといったところの分析ですが、主な要因として考えられますのは、日本学生支援機構等の奨学金の返還方法におきまして所得連動返還方式の導入でありますとか、あとは返還不要の給付型奨学金等の制度の充実などが考えられるところがございます。帯広市としましても、こうした動向を踏まえまして、より利用しやすくということで、支給開始時期の早期化や段階返還方式の導入、またコロナ禍における感染症の影響をふまえた返還猶予、連帯保証人の要件の緩和などにも取り組んできているところがございます。より使いやすい、使い勝手の良い制度となりますように、日本学生支援機構におけます奨学金制度改正の動向ですとか、また道内他都市の事例等を研究してまいりたいと考えています。それと、入学支度金についてですけれども、予算額としては500万円で、仕組みとしましては10万円30万円50万円という金額から選んでいただいて、お貸しするというような仕組みになっています。決算としましては、500万円に対しての380万円ということになっております。以上です。

天池 課長

市民大学講座につきましては今年の9月の時点で25講座を予定しておりますので昨年度よりは実施できております。高齢者学

級につきましては復調しているとは言えませんが、近年、高齢者学級含め、老人会など、そういったところに入らなくなってきている部分もあります。高齢者の方については世間一般に比べてコロナに対する対策意識が高いといったこともありますので、あまり復調していないと考えられます。放送大学につきましては、とちプラザでそういったブースがございますが、現在はスマートフォンで講座の動画が見られるようになっています。

永田 館長

ボランティアの状況に関してですが、図書館についてはコロナ前とコロナ後の団体数は変わっておりません。個々のボランティア団体の人数につきましては、すべては把握しておりませんが、一番大きな帯広図書館友の会さんの人数で、直近3年ですと100名前後になりますので影響は受けていないと思われま

山原 館長

同じく百年記念館のボランティア数ですが、隔年、偶数年でのボランティアの募集を行っております。全体としては過去10年で25から28の間となっておりますのでほぼ変わっておりません。以上です。

柳川 委員

15 ページの上から2行目の病弱学級という言葉は普通に使われる言葉なのでしょうか。

高橋 課長

特別支援学級におきまして、例えば空気が悪いと体調を崩すですとか、そういった場合に学級の開設にあたり、病弱学級というふうにしております。

柳川 委員

分かります。ただ、病弱学級という文言がどうしても引っかかってしまって、これは普通に使われている言葉ということでしょうか。

黒島 参事

国で統一して区分がございまして、知的学級、情緒学級、それに加えて先ほどの病弱学級、耳の聞こえの程度による難聴学級、肢体不自由学級、言語学級というような区分がございまして、市内に2校ほど設置しております。以上です。

佐々木委員

就学資金貸付の関係で、奨学金の新規貸付の申請をする人数が減っている、少ないというのを聞きながら思ったのですが、もしかして大学等に進学する子どもの数自体が減っているのか、子どもの人数が減っているのは確かなのでしょうか。例えば市内の高校生の大学進学率の推移というのは、現在、下がっているとか上がっているとか、分かる範囲で教えていただけますか。

高橋 課長

北海道が公表している「令和4年度学校基本調査 北海道の概要」によると、令和4年の道内高等学校卒業者の進路別割合では、大学等が50.3%となっており、平成24年度と比べて10.1ポイント増加しております。

田中 委員

就学資金貸付について、貸し付けの申請をする学生が減っているのはどういうことかということ、一番大きいのは敷居が高くなっ

ていて、作品の提出や発表というのは今の若い子には負担になっているのではないかというのがあります。貸し付けの条件等、詳しい内容は分からないのですが、こちらは通常の奨学金のあり方と同じで、所得の書類の提出などだけでしょうか。

高橋 課長

要件は所得に関する書類や小論文、学校の先生からの推薦をいただくという形になっております。

田中 委員

先生方が書類を書くのは彼らにとっては問題ないのですが、自分で書くということがもしかしたら理由になっているかもしれないので調べてみてはいかがでしょうか。以上です。

藤澤 委員

前年度も高校生の奨学金の申し込みがなくて、今年もということですが、入学支度金に関しては高校生からの申し込みがあったということで、奨学金は借りにくい原因があるのではないかと今思ったのですが、なにか違いはないのでしょうか。

高橋 課長

今年度初めて入学支度金といった事業をやっております。高校での奨学金貸与額 7000 円の長期貸付のニーズは前年度と変わっておりません。入学時に必要な学生服の購入などの費用として入学支度金の貸し付けに繋がったものと考えております。

広瀬教育長

他になければ、質疑を終結します。

お諮りいたします。

議案第 29 号令和 4 年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定については、原案のとおり了承することに、ご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

広瀬教育長

ご異議なしと認め、議案第 29 号は了承されました。

以上で本日の日程はすべて終わりました。

これをもちまして、令和 5 年第 14 回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。